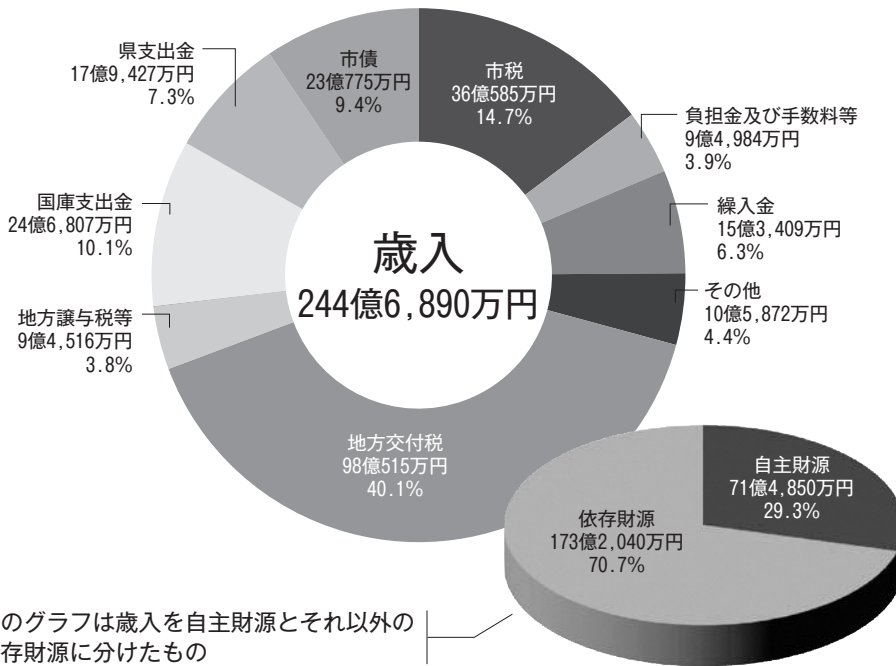


# 平成30年度

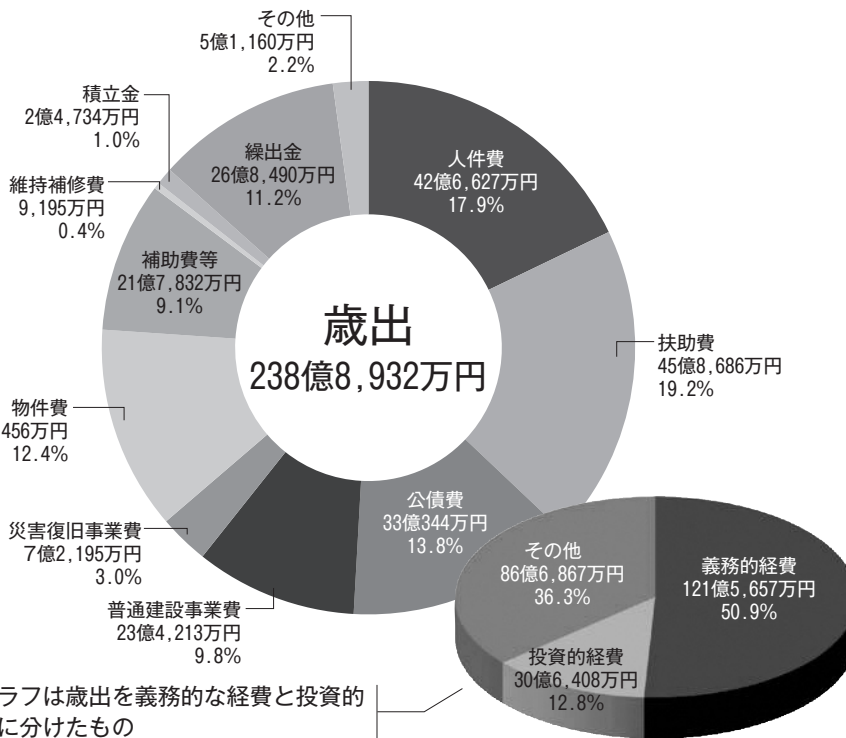
# 決算報告

## 一般・特別会計の概要

## 一般会計 歳入・歳出グラフ



このグラフは歳入を自主財源とそれ以外の依存財源に分けたもの



このグラフは歳出を義務的な経費と投資的な経費に分けたもの

### 歳入

予算現額265億1863万円に対して、調定額251億3796万円、収入済額は244億6890万円、不納欠損額1850万円、収入未済額6億5056万円の決算となっております、収入率は予算

### 歳出

比92・3%、調定比97・3%となっております。  
支出済額は238億8932万円、執行率90・1%となり、翌年度繰越額17億9216万円を差し引いた不用額は8億3715万円です。

### 特別会計

9ある特別会計の歳入総額は131億516万円、歳出総額129億3317万円で歳入歳出差し引きの合計形式収支額は、1億7199万円となり、翌年度へ繰り越すべき財源1225万円を差し引くと実質収支額は1億5974万円の黒字となりました。

### 市債残高

一般会計における当年度末の市債残高は、前年度末より7億6758万円減少。特別会計分を合わせた市債残高は、前年度末より6億9676万円減少し、372億5676万円となりました。

### 詳細は市のホームページへ！

財政状況、財政健全化判断比率の詳細は、市のホームページでも公開しています。

閩財政課 (☎0854-83-8017)

# 決算の状況

(単位：万円)

		歳入	歳出	差し引き	市債残高	基金残高	
一般会計		244億6,890	238億8,932	5億7,958	298億6,342	63億1,063	
特別会計	国民健康保険事業	44億3,470	44億884	2,586	0	2億7,813	
	国民健康保険診療所事業	1,164	1,164	0	3,386	1,118	
	後期高齢者医療事業	11億1,284	11億585	699	0	0	
	介護保険事業	55億9,340	54億6,651	1億2,689	0	7,412	
	生活排水処理事業	1億7,338	1億7,338	0	4億8,431	6,554	
	簡易給水施設事業	2,825	2,825	0	0	0	
	農業集落排水事業	7,038	7,038	0	3億7,074	0	
	大田市駅周辺土地区画整理事業	7,861	7,861	0	1億7,864	0	
	下水道事業	16億196	15億8,971	1,225	63億2,579	2億5,037	
特別会計合計		131億516	129億3,317	1億7,199	73億9,334	6億7,934	
企業会計	病院事業	収益的収支	43億9,766	45億7,039	△1億7,273	46億5,927	1億3,331
		資本的収支	22億9,766	23億8,776	△9,010		
	水道事業	収益的収支	11億5,215	11億3,040	2,175	61億6,927	5,831
		資本的収支	6億2,582	10億1,100	△3億8,518		

## 健全化判断比率 —— 指標すべてが健全化基準を下回っています

平成19年6月、自治体の財政破綻を未然に防ぐことを目的に、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が施行されました。地方公共団体は、4つの指標である「健全化判断比率」、公営企業の経営の健全化

を判断する指標である「資金不足比率」を公表することが義務付けられました。

各比率は次のとおりで、監査委員の審査を受け、9月市議会に報告しました。

○早期健全化基準、財政再生基準、経営健全化基準を超えると…

それぞれに対応した計画を作成し総務大臣などに報告、自主的または国・県の関与のもとに財政健全化を行うこととなります。

### ■実質赤字比率

普通会計を対象とした実質赤字の標準財政規模<sup>\*1</sup>に対する比率で、普通会計の赤字の程度を示しています。

早期健全化基準…12.92%  
財政再生基準……20.00%

大田市 —%<sup>\*2</sup>  
(赤字、資金不足なし)

### ■実質公債費比率

普通会計が負担する元利償還金および準元利償還金の標準財政規模に対する比率で、市の借金の返済額の大きさの程度を示しています。

早期健全化基準…25.00%  
財政再生基準……35.00%

大田市 13.8%

### ■将来負担比率

普通会計が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率で、市が将来支払っていく負担額の大きさの程度を示しています。

早期健全化基準…350.00%

大田市 101.6%

### ■連結実質赤字比率

全会計を対象とした実質赤字（または資金不足額）の標準財政規模に対する比率で、市全体の赤字の程度を示しています。

早期健全化基準…17.92%  
財政再生基準……30.00%

大田市 —%<sup>\*2</sup>  
(赤字、資金不足なし)

### ■資金不足比率

公営企業における資金不足額の事業の規模に対する比率で、事業規模である料金収入に対する資金不足の程度を示しています。

経営健全化基準…20.00%

大田市 —%<sup>\*2</sup>  
(赤字、資金不足なし)

すべての指標で健全化基準を下回っていますが、基金（貯金）を取り崩しているため、将来への不安を残す結果となっています。各指標を参考に、健全な財政運営にしっかり努めていきます。

※1 地方公共団体の標準的な状態で通常収入があるであろう経常的一般財源の規模を示すものです。  
※2 赤字、資金の不足が生じておらず、比率が算定されないため、「—」表示となります。